



富岡町の発展を見据えた 心とふるさと再生の加速化

富岡町マスコットキャラクター
とみっぴー



平成28年4月23日



福島県富岡町



基本姿勢

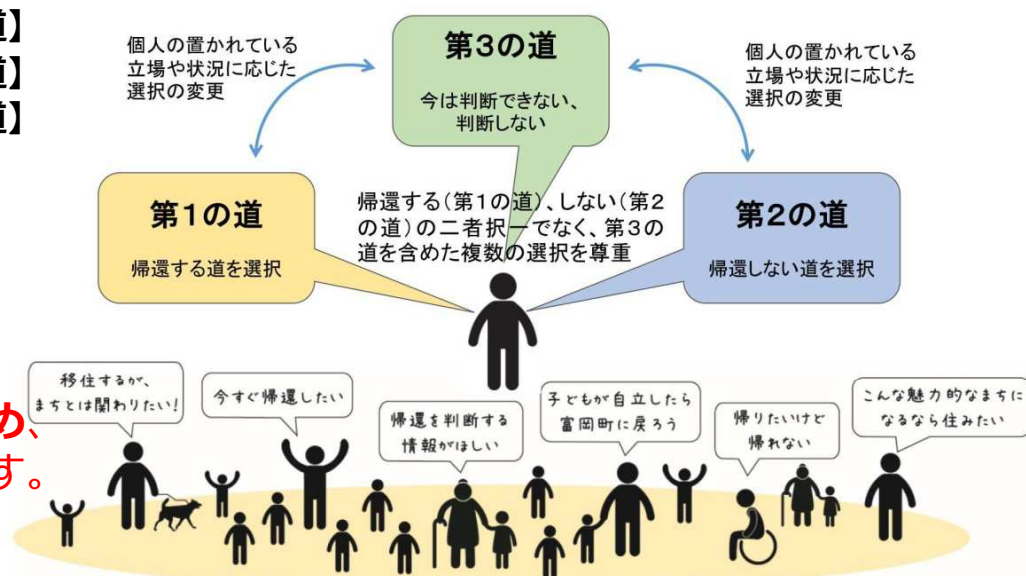
どの道を選んでも、ふるさとに誇りを感じ
富岡のつながりを保ち続けられる町
これからも加わる仲間も
居心地よく親しめる地域をめざして

町民にとっての「生活再建」と「帰還」、あるいは「町との関わり方」はそれぞれの立場や家族の状況などによって大きく異なります。

帰還する
帰還しない（できない）
今は判断できない（しない）

【第1の道】
【第2の道】
【第3の道】

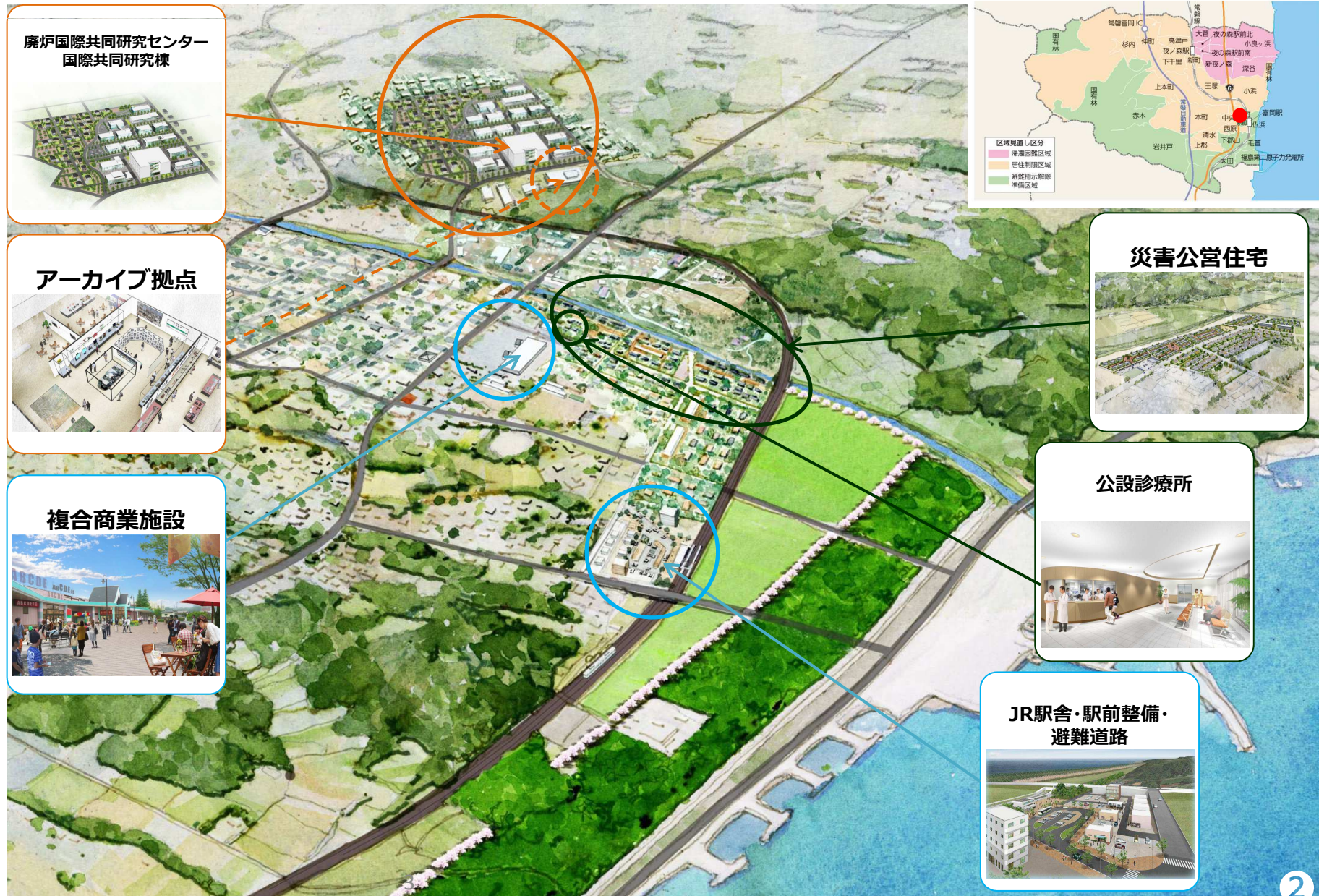
あらゆる町民の意向を尊重し、
町民と町との関わりの継続や
将来帰還、さらには新たな住民も含め、
魅力あるまちづくりを進めていきます。



復興の現状－ふるさと再生

富岡町の再生・発展を先駆ける三本の柱

①くらしの再生 ②にぎわいづくり ③あらたな交流拠点



復興の現状－ふるさと再生

休憩所・町立診療所・複合型商業施設の開設

【休憩所】 H27.10.1 開設

一時帰宅する町民が、移動や片付けによる疲れを癒すとともに久しぶりに再会できる機会を得られるよう休憩所を開設しました。

【診療所】 H28年10月 開設予定

今村病院、今村 諭医師の協力をいただき、東京電力エネルギー館東側に「富岡町立 とみおか診療所」を開設します。

【複合商業施設】 H28年秋 再開予定

町民のくらしに必要な複合商業施設の再開に向け、準備を進めます。H28年1月には、キーテナントとなる「ヨークベニマル様」、「ダイユーエイト様」より出店を表明していただきました。

復興中核拠点内に 安心して時を過ごせる
生活関連施設を整備



富岡町立
とみおか診療所

(外観イメージ)

災害公営住宅の整備

【町内第1期整備】

町内で安心して暮らせる居住空間の確保のため、災害公営住宅を復興拠点内に先行して**50戸建設し、H29.3の完成を目指します。**



【町内第2期整備以降】

第1期整備に続く災害公営住宅建設に向けた、適地、規模等の調査を進めます。

併せて、民間住宅の買い上げ、または、借り上げなどによる居住空間の確保も検討します。

既存の町営住宅や集会所については、荒廃状況を再確認し、解体及び修繕の判断をします。

復興の現状－ふるさと再生

国際産学連携拠点の誘致

復興を後押しする イノベーション・コースト構想

福島から世界に羽ばたく先端技術の開発と
産業集積・雇用創出・地元企業との連携

【廃炉国際共同研究センター】 H29.3 開設予定

浜通り地方の復興を後押しするイノベーション・コースト構想の拠点施設に位置付けられる廃炉国際共同研究センター「国際共同研究棟」がH27年8月に富岡町王塚地区に設置が決定しました。

当該施設では、国内外の英知を結集した廃炉技術の研究等が行われます。

町は、未来を見据え、積極的に企業誘致に取り組むため、「町で暮らしたい」、「町で技術を学びたい」と実感できる町を目指します。



(経済産業省HPより)

多重防御・減災対策

【人々のくらしを守る 4工事 + 1計画】

東日本大震災の教訓を活かした町づくりを目指します。

○4工事

【H30.3完了予定】

①海岸堤防

8.7m 嵩上げ (県相馬港湾)

②河川護岸工事

海岸堤防と調整 (県富岡土木)

【H33.3完了予定】

③海岸防災林を新たに設置 面積約33ha (県相双農林)

【調整中】 ※仮置場状況により変動

④県道広野小高線

約12.0m 嵩上げ (県富岡土木)

○1計画

【H28.秋】

⑤富岡町地域防災計画



第1の壁 津波防御
毛萱仏浜地区海岸堤防

第2の壁 被災軽減
県道広野小高線 (T.P + 11.0~12.0m)

第3の壁 更に軽減
海岸防災林 (L=1,650m、A=33ha)

第4の壁 側面防御
富岡川護岸工事 (海岸~R6)

第5の壁 地震・津波・原子力災害から守る 富岡町地域防災計画



- 町…町民と都市を守る
- 一人ひとり…自分を守る 地域住民を守る

復興の現状－心の復興

人と町とのつながりアクションプラン（骨子）

町民にとっての生活再建や帰還という問題は、**避難指示区域が解除されたら解決するという単純な問題ではありません。**

これらの問題は、年齢や家族の状況などに応じて多様であり、解決には時間がかかります。

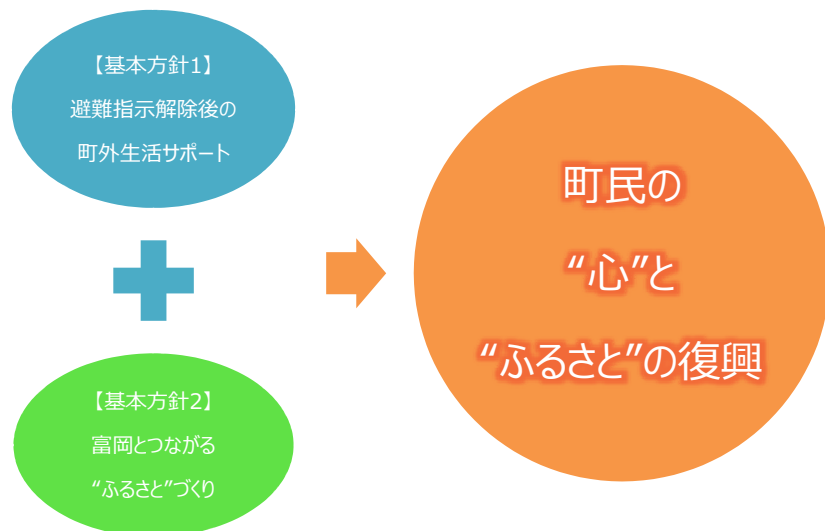
特に、様々な事情から町外での生活を選択せざるを得ない町民にとっては、「**帰還開始（避難指示解除）**」は少なからず**とまどいや不安**を覚える要因となります。

町は、これらをサポートするために、そして富岡とつながるため

【基本方針1】避難指示解除後の町外生活サポート

【基本方針2】富岡とつながる“ふるさと”づくり

を柱とした『人と町とのつながりアクションプラン』をH28年秋頃の策定を目指します。



避難生活拠点の充実

【県外支援拠点】

H27年1月 **富岡町県外避難者支援拠点事務所**を埼玉県さいたま市浦和区に開設。首都圏を中心に戸別訪問や交流イベントの開催、避難先自治体や各種団体の連携など支援活動を展開しています。

【交流サロンの充実】

避難住民と受入先自治体住民との交流や町の情報発信拠点として**県内5箇所**（いわき市3箇所、福島市1箇所、郡山市1箇所）に**交流サロン**を開設しています。

富岡文化の記録と継承

【資史料レスキュー】

H26年6月、歴史文化等保全プロジェクトチームを立ち上げ、個人宅や寺社、企業等で大切に所蔵しているくらしを物語る**資史料の調査・救出・整理・保存**を継続的に行っています。

【企画展】（H28年3月）

町の成り立ちや震災の教訓を伝える企画展をいわき市で開催し、救出した資史料の展示とともに、富岡駅前や災害対策本部の様子を最新の**3D映像で疑似体験の場**を提供しました。

○H28.4 夜の森桜並木
3D映像データを収集



復興の現状－5つの課題

〔2016 現状〕
**本格復興のスタートをきるための
基盤づくり（復旧段階）**



〔H27.6策定〕



〔H27.9策定〕



〔H28.3策定〕



〔H28.3策定〕

〔2017 課題〕

避難解除 住民理解に基づいた**円滑な避難指示区域の解除**（帰還開始）

徹底除染 除染の長期目標 1mSv／年に向けた **徹底した除染の継続**

帰還促進 帰還意欲を高める**魅力的なまちづくり**

生活支援 すぐに帰還できない**町民への支援**

復興財源 本格復興を推進するための**財源確保**